

科目名	英語 I A-1 (英語 I A)			科目コード	12011		
英文名	English I A			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)		
担当教員	栗崎 由子		教員コード	248		単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日・1時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	平易な英語を使った寸劇やプレゼンテーション、動画作成などを使う演習形式で英語会話によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。会話の理解を助けるため、文法の基礎事項を適宜確認する。						
授業の狙い・到達目標	講師は会話の力を身につけることは、生きる力を身につけることだと考える。英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。そのために、学習した経験や知識(語彙、表現、構文など)を援用する。						
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識で十分である。それを使いこなすことで、「使える英語」に高めていく。そうした英会話を、発話の段階から学ぶ。適宜基礎的な文法の復習を行う。						
授業外学習(予習・復習)	事前に次回の学習箇所の単語を調べておく。復習を行う。毎回復習、予習を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要な時間	各回2時間、合計30時間		
使用教科書	Eric Bray, "New Time to Communication", 南雲堂, 2018						
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。 短いビデオ作成や調査・発表の課題があるので、スマホを持っていることが望ましい。						
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。 毎回提出する宿題にコメントを入れて返却する。同時に各自の才提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う仕組みを作る。						
成績評価方法	授業への積極的な参加(質問、発言などを含む)(60%)、課題の提出(40%)で総合的に判断する。						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	教室での間違いは学びの始まりです。間違っても良いから、教室では積極的に発話することが、英会話の習熟への近道です。						
科目に関連した教員の業務経験	担当講師は約30年間、欧州の国際機関や、多国籍企業で英語を使って実務経験を積んだほか、現在は大人を対象にビジネス英会話を指導している。 この経験は各回の授業に反映されている。						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(初回の授業で提示する) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること						

### 授業スケジュール

英語 I A-1 (英語 I A)

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、授業の約束、評価基準、etc. シラバスを読んでおくこと p7を書き取る。P8 3) Task
2回	学習内容 予習 復習	Unit 1 人に会う、会話二往復、分からない単語を確認する、Follow-up Questions (FUQ)導入 p7を書き取る。P8 3) Task P10 About yourself 書く、話す練習を5回行う
3回	学習内容 予習 復習	P9, Unit 1 人に会う、会話三往復目標、FUQを作る練習 p10 About yourself 書く、話す練習を5回行う Homework -- 宿題の見直しとUnit 2, P11書き取り
4回	学習内容 予習 復習	Unit 2 クラスメートを知る、家族を紹介する、FUQを作る練習 Unit2の書き取り Homework -- 宿題の見直しとUnit 2, P12-2)
5回	学習内容 予習 復習	Unit 2 クラスメートを知る、FUQを作る練習(P13) Unit2の書き取り 宿題の見直しとUnit3 書き取り, P16
6回	学習内容 予習 復習	Unit 3 授業について、分からない単語の確認、会話練習、P17 Unit3の書き取り 宿題の見直しとUnit3 p17 書く
7回	学習内容 予習 復習	Unit 1-3の復習、自己紹介の発表、2分以上 Unit3 P17 7行以上書く。 自撮りビデオの完成と提出
8回	学習内容 予習 復習	会話ビデオの相互鑑賞、相互学習 Unit4 書き取り P 20 -21, Unit 4練習問題
9回	学習内容 予習 復習	会話ビデオの相互鑑賞、Unit 4 頻度の表現を学ぶ P 20 -21, Unit 4 練習問題 P22, Unit 4 練習問題
10回	学習内容 予習 復習	Unit 1-4 ふり返り P23 課題に取り組む 次回以降に使う台本の書き取り
11回	学習内容 予習 復習	寸劇(1) 導入 (1)、落語について調べる。落語を解説した動画で学ぶ。 台本の書き取り(小咄を予定) セリフの暗記
12回	学習内容 予習 復習	寸劇(1) 導入 (2) 落語の調査結果を発表する、台本を読み込み、人物設定を行う 落語について調査し、発表資料を作る 台本の暗記、各自の発表のふり返り
13回	学習内容 予習 復習	寸劇(1) 台詞の暗記の確認、人物設定から動作へ 台本の暗記の定着 台本の暗記
14回	学習内容 予習 復習	寸劇(1) 台詞の暗記、動作の練習 台本の暗記と動作の練習 動作を練習する
15回	学習内容 予習 復習	寸劇(1)ビデオ撮影と提出 台本の暗記と動作の練習 寸劇のグループでふり返りを行う

科目名	英語 I A-2 (英語 I A)			科目コード	12012		
英文名	English I A			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)		
担当教員	栗崎 由子	教員コード	248	単位数	1単位		
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日・1時限	授業形態	演習		
学位授与方針との対応	<input type="radio"/>	1.大学生としての幅広い教養を身につける	<input checked="" type="radio"/>	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する			
	<input type="radio"/>	3.論理的・批判的なものの見方を養う	<input type="radio"/>	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する			
	<input type="radio"/>	5.学習の過程で発見した課題を探索する	<input type="radio"/>	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う			
授業概要	平易な英語を使った寸劇やプレゼンテーション、動画作成などを使う演習形式で英語会話によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。会話の理解を助けるため、文法の基礎事項を適宜確認する。						
授業の狙い・到達目標	講師は会話の力を身につけることは、生きる力を身につけることだと考える。英語の発話を習慣化し、寸劇やビデオなどで学んだ台詞を使って、簡単な会話ができるようになることを目指す。そのために、学習した経験や知識(語彙、表現、構文など)を援用する。						
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識で十分である。それを使いこなすことで、「使える英語」に高めていく。そうした英会話を、発話の段階から学ぶ。適宜基礎的な文法の復習を行う。						
授業外学習(予習・復習)	事前に次回の学習箇所の単語を調べておく。復習を行う。毎回復習、予習を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要な時間	各回2時間、合計30時間		
使用教科書	Eric Bray, "New Time to Communication", 南雲堂, 2018						
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。 短いビデオ作成や調査・発表の課題があるので、スマホを持っていることが望ましい。						
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。 毎回提出する宿題にコメントを入れて返却する。同時に各自の才提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う仕組みを作る。						
成績評価方法	授業への積極的な参加(質問、発言などを含む)(60%)、課題の提出(40%)で総合的に判断する						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	教室での間違いは学びの始まりです。間違っても良いから、教室では積極的に発話することが、英会話の習熟への近道です。						
科目に関連した教員の業務経験	担当講師は約30年間、欧州の国際機関や、多国籍企業で英語を使って実務経験を積んだほか、現在は大人を対象にビジネス英会話を指導している。 この経験は各回の授業に反映されている。						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。(初回の授業で提示する) 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること						

### 授業スケジュール

英語 I A-2 (英語 I A)

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、授業の約束、評価基準、etc.、寸劇(1)のビデオの相互鑑賞、相互フィードバック シラバスを読んでおくこと Unit7の書き取り
2回	学習内容 予習 復習	Unit 7 週末について、動詞の過去形、置き換え練習、p35 知識の確認 Unit 7書き取り Unit 7 課題練習 P35
3回	学習内容 予習 復習	Unit 7 週末について、動詞の過去形、P35 知識の確認(続き)、作文練習 Unit 7 課題練習 P35 Unit 7 課題練習
4回	学習内容 予習 復習	Unit 7 週末について、動詞の過去形、P36 Taskを元に会話練習 Unit 7 Unit10 書き取り+D46課題練習 Unit10 書き取り
5回	学習内容 予習 復習	Unit 10 好きな食べ物、順序立てて話す文型、聴き取り、必要な語彙、聴き取り練習 Unit10 書き取り Unit 10 p49 書き取り
6回	学習内容 予習 復習	Unit 10 プレゼンテーション -- 好きな食べ物、聴き取り、必要な語彙、聴き取り練習 Unit 10 p49 書き取り 発表の準備
7回	学習内容 予習 復習	Unit 10 プレゼンテーション -- 好きな食べ物、発表のリハーサル、相互フィードバック、質問を作る プレゼンの準備 プレゼンの改善と練習
8回	学習内容 予習 復習	Unit 10 プレゼンテーション -- 好きな食べ物、発表の本番、相互フィードバック、質問を作る プレゼンの改善と練習 Unit 12書き取り
9回	学習内容 予習 復習	Unit 12 郷里の街について調べて発表する、質問を作る、基礎知識の導入 Unit 12書き取り Homework -- 動画で聴き取り練習をする
10回	学習内容 予習 復習	Unit 12 郷里の街、知らない土地について調べて発表する(リハーサル)、相互フィードバック プレゼンの準備 プレゼンの改良、補足調査
11回	学習内容 予習 復習	Unit 12 郷里の街について調べて発表する、本番、質問する、相互フィードバック プレゼンの改良、補足調査 プレゼンのふり返り、台本を書き写す
12回	学習内容 予習 復習	寸劇(2)導入 台本を書き写す Homework -- 進捗を見て決める
13回	学習内容 予習 復習	寸劇(2)登場人物キャラクターづくりから演技へ 台詞の暗記、動作を付ける 動作の練習、台本の暗記
14回	学習内容 予習 復習	寸劇(2)リハーサルと相互フィードバック 台詞の暗記、動作を付ける フィードバックを元にふり返り、改善
15回	学習内容 予習 復習	寸劇(2)の発表、ビデオ撮影と提出 寸劇の台詞の暗記、動作の研究 寸劇のグループでふり返りを行う

科目名	英語 I B-1 (英語 I B)			科目コード	12021		
英文名	English I B			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)		
担当教員	安藤 郁子		教員コード	260		単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	木曜日・1時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	前期では、基本的な文法と使用法の確認をしつつ、英語を通じて世界についても学ぶ。自分自身や身近な話題についての表現方法を身につけながら、人前で発表することに慣れ、発話の楽しさや英語への興味を引き出すことを目標とする。						
授業の狙い・到達目標	リーディング・ライティング・スピーキング・リスニングの四技能を総合的に上達させつつ、平易な英語を使いながら自己表現ができるようになる。 世界の国々や文化についても学び、今後さらに必要不可欠になる英語の重要性を認識する。						
授業内容のレベル・関連科目	前期では、中学・高校で学んだ文法の再確認をしつつ、簡単な内容を英語で表現し、発表の練習を繰り返すことで発話に自信をつけ、後期に行うプレゼンテーションの基礎を学ぶ。						
授業外学習(予習・復習)	自宅で、文法・単語の復習や、発表の準備を、前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、 合計60時間		
使用教科書	特に無し。単語力を増やす為に毎回プリントを配布し、次週に簡単なテストを行う。						
参考書・その他教材	必要に応じてプリントや、簡単な英字新聞の記事や関連記事の資料等を配布する。洋楽から英語の持つリズムや発音、フレーズを学び、リスニング強化につなげる。						
課題に対するフィードバック	小テストや英文作の解説を行い、生徒の発表やミニ・プレゼンテーションには、クラス全体でフィードバックをする。						
成績評価方法	授業への積極的な取り組み・貢献度(50%)、課題・発表内容(40%)、小テスト(10%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	基礎的な文法であっても、疑問点は必ず質問し分からないままにしないこと。単語力は英語力の上達に不可欠なので、小テストには真剣に取り組んで欲しい。						
科目に関連した教員の業務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話や文法、音読の指導、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策指導を行っている。						
担当教員への連絡方法	質問はメール(初回授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合は、再度連絡方法を確認すること。						

### 授業スケジュール

英語 I B-1 (英語 I B)

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション。授業内容、評価基準を説明。Introduce yourself ; Get to know each other. シラバスを読んでおくこと。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
2回	学習内容 予習 復習	時制① 時制の種類と使い分け。過去形・過去分詞形不規則動詞の復習。 Talking about your interests or hobbies.簡単に発表できるよう準備する(ストラクチャーは指示)。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
3回	学習内容 予習 復習	時制② 現在完了形と過去完了形の復習。 Show and tell ; your favorite things.簡単に発表できるよう準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
4回	学習内容 予習 復習	時制③ 未来完了形と、時制を表す過去分詞形の応用。 Talking about your dream.簡単に発表できるよう準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
5回	学習内容 予習 復習	不定詞① 不定詞の種類と応用。 Talking about your country and hometown.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
6回	学習内容 予習 復習	不定詞② 会話に使われる不定詞を使った表現。 Talking about your culture; food.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
7回	学習内容 予習 復習	形容詞① 形容詞と副詞の使い分け。 Talking about your culture; fashion.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
8回	学習内容 予習 復習	形容詞② 比較級と最上級の復習。会話でよく使われる表現。 Talking about your favorite culture; art and music.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
9回	学習内容 予習 復習	名詞 可算名詞・不可算名詞・単複同形名詞復習。 Talking about reading material; books, magazines and comics.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
10回	学習内容 予習 復習	冠詞 定冠詞・不定冠詞・無冠詞の復習。 Talking about your favorite places.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
11回	学習内容 予習 復習	限定詞 指示詞・代名詞の復習。 Talking about your daily life; weekdays and weekends.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
12回	学習内容 予習 復習	傾度を表す副詞、未来形の種類と用法の復習。 Talking about people; family and friends.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
13回	学習内容 予習 復習	動名詞① 動詞との用法、形容詞との用法 Talking about cooking; easy recipes to share.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
14回	学習内容 予習 復習	動名詞② 会話で使われる動名詞を使った表現 Talking about traveling; good memories and bad memories.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
15回	学習内容 予習 復習	学習進度の調整。前期内容のふり取り。 Talking about summer holidays; holiday plans.簡単に発表できるように準備する。 配布プリントの復習。前期復習テストの準備。

科目名	英語 I B-2 (英語 I B)			科目コード	12022		
英文名	English I B			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)		
担当教員	安藤 郁子		教員コード	260		単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	木曜日・1時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	◎	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探索する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	前期に引き続き、基本的な文法と単語の復習、応用に取り組みながら、与えられた課題について時間をかけて調べてまとめ、プレゼンテーションをする。						
授業の狙い・到達目標	前期で繰り返し練習したミニ・プレゼンテーションを発展させ、プロジェクトとして、グループまたは個人で考えや意見をまとめ、発表し、質疑応答ができる積極性を持たせることを目標とする。次年度以降に、更に高度なプレゼンテーションやディベートが出来るようになる為の基礎を固める。						
授業内容のレベル・関連科目	前期で復習、確認したアカデミックな文法表現を活かし、課題について調べて発表し、自発的にクラスメートと質疑応答、フィードバックを行えるようにする。						
授業外学習(予習・復習)	自宅で、文法・単語の復習や、プロジェクトの為の準備を、前向きに楽しんで取り組めることが望ましい。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	特に無し。単語力を増やす為に毎回プリントを配布し、次回小テストを行う。						
参考書・その他教材	必要に応じて、簡単な英字新聞の記事や関連記事、洋楽の歌詞等、プリントを配布する。						
課題に対するフィードバック	単語の小テストや、文法の復習テストの解説を行い、プロジェクトには、クラス全体でフィードバックをする。						
成績評価方法	授業への積極的な取り組み・貢献度(50%)、課題・発表内容(40%)、小テスト(10%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどれくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規定の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	疑問点は必ず質問し分からないままにしないこと。単語力の上達に不可欠な小テストには、真剣に取り組んで欲しい。授業内で調べ物が出来るように、インターネットで検索出来る物を持参する。						
科目に関連した教員の業務経験	海外での生活と外資系企業に就労していた経験を活かし、幅広い年齢の英会話や文法、音読の指導、時事英語、ビジネス英語、各種資格試験の面接対策指導を行っている。						
担当教員への連絡方法	質問はメール(初回授業で提示)でも受け付ける。本文には学籍番号・氏名を必ず記載すること。返信が無い場合は、再度連絡方法を確認すること。						

### 授業スケジュール

英語 I B-2 (英語 I B)

1回	学習内容 予習 復習	後期イントロダクション。授業内容、評価基準を説明。前期復習テスト。 シラバスを読んでおくこと。前期復習テストの準備。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
2回	学習内容 予習 復習	使役動詞と知覚動詞。復習テストの解説。 Travel plan① places to visit in Japan and overseas. 配布プリントの復習。単語テストの準備。
3回	学習内容 予習 復習	助動詞① 種類と用法の復習。 Travel plan② activities and entertainments. 配布プリントの復習。単語テストの準備。
4回	学習内容 予習 復習	助動詞② 可能性を表す用法の復習。 Travel plan③ transportations and accomodations. 配布プリントの復習。単語テストの準備。
5回	学習内容 予習 復習	助動詞③ その他の慣用表現。 Travel plan④ tour schedule and information. 配布プリントの復習。単語テストの準備。
6回	学習内容 予習 復習	仮定法① ifを使った表現の復習。 Travel plan⑤ プレゼンテーションリハーサル、フィードバック。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
7回	学習内容 予習 復習	仮定法② 現在形と過去形の表現の復習。 Travel plan⑥ プレゼンテーション、質疑応答、フィードバック。 配布プリントの復習。単語テストの準備。
8回	学習内容 予習 復習	English essay for project① Structure Project title 決め。Introduction 下書き。 Introduction 完成。
9回	学習内容 予習 復習	English essay for project② Contents Chapters 下書き。資料集めと分類。 Chapters案完成。資料読み込み。
10回	学習内容 予習 復習	English essay for project③ Draft 資料読み込みと各chapters 下書き。 Chapters清書。資料読み込み。
11回	学習内容 予習 復習	English essay for project④ Draft 資料読み込みと各chapters 下書き。 Chapters清書。資料読み込み。
12回	学習内容 予習 復習	English essay for project⑤ Draft 資料読み込みと各chapters 下書き。 Chapters清書。添付資料集め。
13回	学習内容 予習 復習	English essay for project⑥ Draft Front cover, Conclusion, References 下書き。 Front cover, Conclusion, References清書。
14回	学習内容 予習 復習	English essay for project⑦ Edit essay の編集。Chapters, Introduction 見直し。 Project essay の完成。
15回	学習内容 予習 復習	English essay for project⑧ Project presentation presentationの準備と練習。 次年度に向けての課題点、学習方法の再確認、準備。教員に相談も可。

科目名	英語ⅡA-1（英語ⅡA）			科目コード	12051		
英文名	EnglishⅡA			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目（選択必修）		
担当教員	栗崎 由子		教員コード	248	単位数	1単位	
開講期間	前期	曜日・時限	火曜日・4時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		◎	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う		○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	平易な英語を使った寸劇やプレゼンテーション、動画作成などを使う演習形式で英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。会話の理解を助けるため、文法の基礎事項を適宜確認する。						
授業の狙い・到達目標	講師は会話の力を身につけることは、生きる力を身につけることだと考える。英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。そのために、学習した経験や知識（語彙、表現、構文など）を援用する。						
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。						
授業外学習（予習・復習）	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次回の学習の導入を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要時間	各回2時間、合計30時間		
使用教科書	笹島滋他著、CLIL Seeing the World through Maps, 英語と地図で学ぶ世界事情「改訂版」、三修社						
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。 短いビデオ作成や調査・発表の課題があるので、スマホを持っていることが望ましい。						
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。 毎回提出する宿題にコメントを入れて返却する。同時に各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行ない、学生が相互に学び合う。						
成績評価方法	授業への積極的な参加（質問、発言などを含む）(60%)、課題の提出(40%)で総合的に判断する						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	教室での間違いは学びの始まりです。間違っても良いから、教室では積極的に発話することが、英会話の始まりであり習熟への近道です。						
科目に関連した教員の業務経験	担当講師は約30年間、欧州の国際機関や、多国籍企業で英語を使って実務経験を積んだほか、現在は大人を対象にビジネス英会話を指導している。 この経験は各回の授業に反映されている。						
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。（初回の授業で提示する） 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること						

### 授業スケジュール

英語ⅡA-1（英語ⅡA）

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション、授業の約束、評価基準、etc. シラバスを読んでおくこと 教科書 P44, 45 & 46: 黙読して、知らない単語の意味を調べる。
2回	学習内容 予習 復習	Area & Southeast Asia 地域の導入、地名と地図の照合、聴き取り、P45 導入 教科書 P44, 45 & 46: 黙読して、知らない単語の意味を調べる。 リサーチのふり返りと修正
3回	学習内容 予習 復習	P45 Spectacular sights リサーチの発表、相互フィードバック P45 Spectacular sights 写真と地名の関連、写真にあげられた名物の基礎情報を調べる リサーチの発表をふり返り改善点をリストにする
4回	学習内容 予習 復習	P46 Explore Indonesia ディクテーション、分からない言葉、文型練習、会話練習 P46 Explore Indonesia を3回書き取る P46 を読み、全ての単語が分かるようになる。
5回	学習内容 予習 復習	グループ学習。P47 Task 1 全員で教科書を読み、国のデータを確認する。リサーチ。 P47 Task 1 読んで答えを書く、Task 2 東南アジアの国を一つ選び、P17 Task2の項目について調べる リサーチを元にプレゼンを作成する。
6回	学習内容 予習 復習	グループ学習選択した国について一回目のプレゼン(リハーサル)。フィードバック。 フィードバックを元に、プレゼンを改善する。 最終発表に向けてプレゼンを改善する。
7回	学習内容 予習 復習	グループ学習。P47 Task 2 最終発表。学生からのフィードバック、自分のふり返り。 最終発表に向けてプレゼンを改善する。 P48 分からない単語を調べる
8回	学習内容 予習 復習	p48 単語の確認、意味の説明(学生が行う)、会話練習 P48 分からない単語を調べる P48を読んで理解を定着させる、P49を読む、空欄を埋める
9回	学習内容 予習 復習	グループ学習。東南アジア地域の歴史。主なイベントを一つ選ぶ、予備調査(相互学習) P49 Task 3を読む、空欄を埋める、p49 Task 4 調べる 担当するイベントの調査、プレゼンの準備
10回	学習内容 予習 復習	グループ学習。東南アジア地域の歴史(続き)。リサーチ結果を発表する。リハーサル、フィードバック(担当するイベントの調査、プレゼンの準備) プレゼンの改善
11回	学習内容 予習 復習	最終発表、フィードバック、ふり返り(相互学習) プレゼンの改善 台本の書き取り
12回	学習内容 予習 復習	寸劇 (Violin) 音読、内容理解から人物設定へ、前年の学生の録画を見る 台本の書き取り セリフの暗記
13回	学習内容 予習 復習	寸劇 (Violin) の台詞の暗記、人物設定 セリフの暗記 セリフの暗記と定着、動作を考える。
14回	学習内容 予習 復習	寸劇 (Violin) の台詞の暗記、動作の練習、 セリフの暗記と定着、動作を考える。 セリフの暗記と定着、動作を工夫する。
15回	学習内容 予習 復習	寸劇 (Violin)のビデオ撮影と提出 課題の寸劇の台詞を暗記する 落語 自撮り(ベアワーク)

科目名	英語ⅡA-2（英語ⅡA）			科目コード	12052	
英文名	EnglishⅡA			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目（選択必修）	
担当教員	栗崎 由子		教員コード	248	単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	火曜日・4時限	授業形態	演習	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける	◎	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
	○	3.論理的・批判的なものの見方を養う	○	4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	○	5.学習の過程で発見した課題を探求する	○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	平易な英語を使った寸劇やプレゼンテーション、動画作成などを使う演習形式で英語によるコミュニケーションの基礎を学ぶ。会話の理解を助けるため、文法の基礎事項を適宜確認する。					
授業の狙い・到達目標	講師は会話の力を身につけることは、生きる力を身につけることだと考える。英語の発話を習慣化し、簡単な会話が自分から進んでできるようになることを目指す。そのために、学習した経験や知識（語彙、表現、構文など）を援用する。					
授業内容のレベル・関連科目	自分の意志を伝えるには、日本の中学校で履修したレベルの語彙や文法知識が基本である。この授業ではその知識を発話の反復によって「話して使う英語」に育てて行く。適宜基礎的な文法の復習を行う。					
授業外学習（予習・復習）	事前に次回の学習箇所の単語を調べておくこと。授業の復習や次回の学習の導入を目的とした宿題を出す。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間	
使用教科書	笹島滋他著、CLIL Seeing the World through Maps, 英語と地図で学世界事情「改訂版」、三修社					
参考書・その他教材	適宜、学習課題に沿ったプリントの配布、動画の紹介を行う。 短いビデオ作成や調査・発表の課題があるので、スマホを持っていることが望ましい。					
課題に対するフィードバック	授業では講師との会話の機会を設け、一人一人に発話を促す。 毎回提出する宿題にコメントを入れて返却する。同時に各自の提出物やプレゼンテーションを教材としてクラス全体でフィードバックを行う。					
成績評価方法	授業への積極的な参加（質問、発言などを含む）(60%)、課題の提出(40%)で総合的に判断する					
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。					
履修上の注意事項や学習上の助言	教室での間違いは学びの始まりである。間違っても良いから、教室では積極的に発話することが、英会話の始まりであり習熟への近道である。					
科目に関連した教員の実務経験	担当講師は約30年間、欧州の国際機関や、多国籍企業で英語を使って実務経験を積んだほか、現在は大人を対象にビジネス英会話を指導している。 この経験は各回の授業に反映されている。					
担当教員への連絡方法	質問はメールでも受け付ける。（初回の授業で提示する） 件名に科目名・曜日・時限、本文に学籍番号・氏名を必ず記載すること					

### 授業スケジュール

### 英語ⅡA-2（英語ⅡA）

1回	学習内容 予習 復習	South America 地域の導入、地名と地図の照合、ディクテーション、リサーチと説明 教科書 P62, 63 & 64: 黙読して、知らない単語の意味を調べる。 教科書 P62, 63 & 64を読み直す。知識の定着。
2回	学習内容 予習 復習	P63 Spectacular sights リサーチの発表、相互フィードバック、発表のふり返り P63 Spectacular sights 写真と地名の関連、写真にあげられた場所の基礎情報を調べる リサーチの発表の改善点をリストにする
3回	学習内容 予習 復習	P64 Explore South America ディクテーション、分からない言葉、文型練習、グループ学習の導入 P64 Explore South America を3回書き取る P65 Task 1 読んで答えを書く、Task 2 南米の国を一つ選び、教科書の項目について調べる
4回	学習内容 予習 復習	グループ学習、P65 Task 1 全員で教科書を読み、国のデータを確認する。調査国の選定、調査計画の発表とフィードバック P65 Task 1 読んで答えを書く、Task 2 南米の国を一つ選び、教科書の項目について調べる フィードバックを元に、最終発表に向けて前回のプレゼンの改善
5回	学習内容 予習 復習	グループ学習。P65 Task 1 プレゼン、リハーサル(目的 聴き手に分かり易いか?) P65 Task 1 最終発表に向けて前回のプレゼンの改善 P65 Task 1 最終発表に向けて前回のプレゼンの改善
6回	学習内容 予習 復習	グループ学習。P65 Task 1 改善した最終発表のプレゼン(目的 聴き手に分かり易いか?) P65 Task 1 最終発表に向けて前回のプレゼンの改善 P66 読んで分からない単語を調べる
7回	学習内容 予習 復習	p66 単語の確認、意味の説明(学生が行う)、会話練習 P66 読んで分からない単語を調べる P66を読んで理解を定着させる、P67を読む、空欄を埋める
8回	学習内容 予習 復習	グループ学習。P67 南米と日本の移民について歴史。主なイベントを理解し調査テーマを決める P67Task 3を読む、空欄を埋める、p49 Task 4 調べる グループで決めたイベントを調査する。
9回	学習内容 予習 復習	グループ学習。日本移民の歴史(続き)。調査結果プレゼン(リハーサル)。聴き手からのフィードバック グループで決めたイベントを調査する。感想を書く。 プレゼンのふり返りと改善。追加調査。
10回	学習内容 予習 復習	グループ学習。日本移民の歴史(続き)。調査結果の最終プレゼン。聴き手からのフィードバック プレゼンのふり返りと改善。追加調査。 プレゼンのふり返りと感想を書く。
11回	学習内容 予習 復習	予備時間、進行を見て適宜テーマを設定する。 第11回のテーマに即した予習を第10回の授業時に与えるので、それを自習すること。 台本を書き写す、暗記する
12回	学習内容 予習 復習	グループ学習。寸劇(2) 導入 課題ビデオを観て台詞を書く 台本の暗記、動作を付ける
13回	学習内容 予習 復習	グループ学習。寸劇(2) 登場人物キャラクターづくりから演技へ 台詞の暗記、動作を付ける セリフと動作の練習
14回	学習内容 予習 復習	グループ学習。寸劇(2)リハーサルと相互フィードバック 台詞の暗記、動作を付ける セリフと動作の仕上げ
15回	学習内容 予習 復習	グループ学習。寸劇(2)の発表、ビデオ撮影と提出 寸劇の台詞の暗記、動作の研究 寸劇のグループでふり返りを行う

科目名	英語ⅡB-1 (英語ⅡB)			科目コード	12061		
英文名	EnglishⅡB			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)		
担当教員	山崎 寿美子		教員コード	147		単位数	1単位
開講期間	前期	曜日・時限	水曜日・2時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探索する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	英字新聞、学術雑誌、英語教材などを使用して、世界の文化・慣習・思想について学ぶ。それをふまえて、受講生がテーマを選び、ある文化・慣習・思想に関する発表を行う。						
授業の狙い・到達目標	異文化や価値観の違いなどについて理解を深め、英語を使って自らの考えを相手に伝えることができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	簡易な英語で書かれた文章を読めることが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	授業のみならず、積極的に予習・復習することが語学力の向上に不可欠である。各自ノートを用意し、授業で使用する資料の語彙を調べたり、授業後に内容についてまとめたりする必要がある。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	Natsuki Matsui, Yasuhiro Iida, Naoko Kaneda, Ken Wing Poon. <i>Guess What?!-Intercultural Surprises. Nan'Un-Do 2020.</i>						
参考書・その他教材	各自、毎回の授業に必ず辞書を持参すること。英英辞典が望ましい。						
課題に対するフィードバック	テーマごとに出す課題に対しては、翌週の授業でコメントやアドバイスをします。						
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、プレゼンテーション(50%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	語彙や表現などを主体的に調べ書き留めるノートを準備すること。他クラスと合同授業を実施することが複数回ある。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける。						

### 授業スケジュール

英語ⅡB-1 (英語ⅡB)

1回	学習内容 予習 復習	イントロダクション—授業の目的、内容、進め方について説明する。 シラバスを読み、授業の内容についておおまかに理解しておくこと。 授業の趣旨を理解し、今後の取り組みについてイメージをもっておくこと。
2回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む① 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
3回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む② 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
4回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む③ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
5回	学習内容 予習 復習	天声人語を読む④ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
6回	学習内容 予習 復習	これまでの振り返り:天声人語の記事の内容を身近な問題に置き換えて考える これまでの授業で読んだ資料すべてに目を通して行くこと。 ディスカッションの内容を振り返っておくこと。
7回	学習内容 予習 復習	これまでの記事に関連する雑誌を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
8回	学習内容 予習 復習	これまでの振り返り:天声人語の記事と雑誌記事の内容をふまえて、自分の意見を英語で表現する 第6回の授業で出された意見・質問をまとめて行くこと。 他の学生の意見や質問をふまえ、自分の考えをまとめ、レポートを提出すること。
9回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える①タイについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
10回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
11回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の香りの文化について調べて行く 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
12回	学習内容 予習 復習	タイの事例から、世界の香りの文化について考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
13回	学習内容 予習 復習	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える①韓国について学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
14回	学習内容 予習 復習	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでおくこと。
15回	学習内容 予習 復習	韓国の事例から、受け継がれる食文化について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の食文化の継承について調べて行く 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめて、レポートを提出すること。

科目名	英語 II B-2 (英語 II B)			科目コード	12062		
英文名	English II B			科目区分	【共通教養科目】 第1外国語科目(選択必修)		
担当教員	山崎 寿美子		教員コード	147		単位数	1単位
開講期間	後期	曜日・時限	水曜日・2時限		授業形態	演習	
学位授与方針との対応	○	1.大学生としての幅広い教養を身につける		○	2.学修を通じて得た専門的な知識を表現する		
		3.論理的・批判的なものの見方を養う			4.自己の潜在能力を発見し、問題を解決する		
	◎	5.学習の過程で発見した課題を探索する		○	6.卒業後の社会生活を豊かに過ごす基礎を養う		
授業概要	英字新聞、学術雑誌、英語教材などを使用して、世界の文化・慣習・思想について学ぶ。それをふまえて、受講生がテーマを選び、ある文化・慣習・思想に関する発表を行う。						
授業の狙い・到達目標	異文化や価値観の違いなどについて理解を深め、英語を使って自らの考えを相手に伝えることができるようになる。また、世界の事象を学びながら自身の身の回りの問題として捉え直すことができるようになる。						
授業内容のレベル・関連科目	簡易な英語で書かれた文章を読めることが望ましい。						
授業外学習(予習・復習)	授業のみならず、積極的に予習・復習することが語学力の向上に不可欠である。各自ノートを用意し、授業で使用する資料の語彙を調べたり、授業後に内容についてまとめたりする必要がある。			授業外学習に必要な時間	各回4時間、合計60時間		
使用教科書	Natsuki Matsui, Yasuhiro Iida, Naoko Kaneda, Ken Wing Poon. <i>Guess What?!-Intercultural Surprises.</i> Nan'Un-Do 2020.						
参考書・その他教材	各自、毎回の授業に必ず辞書を持参すること。英英辞典が望ましい。						
課題に対するフィードバック	テーマごとに出す課題に対しては、翌週の授業でコメントやアドバイスをします。						
成績評価方法	課題への取り組み(50%)、プレゼンテーション(50%)						
成績評価基準	学習の到達目標にどのくらい到達したかを本学の学業成績判定に関する規程の基準に基づき評価する。						
履修上の注意事項や学習上の助言	語彙や表現などを主体的に調べ書き留めるノートを準備すること。他クラスと合同授業を実施することが複数回ある。						
科目に関連した教員の業務経験	特になし						
担当教員への連絡方法	質問はメール(yamazaki@aikoku-u.org)で受け付ける。						

### 授業スケジュール

英語 II B-2 (英語 II B)

1回	学習内容 予習 復習	韓国の事例をふまえ、受け継がれる食文化について調べる 資料を読み、食文化の継承について調べてくること 授業で受けた意見をふまえ、調べた内容を精査すること。
2回	学習内容 予習 復習	トルコの事例をもとに、食文化の継承について理解を深める①トルコについて学ぶ 民族誌の一部を読んでくること 分からなかった部分を読み返しておくこと
3回	学習内容 予習 復習	トルコの事例をもとに、食文化の継承について理解を深める②民族誌を読む(前半) 資料を読み、分からない単語を調べておくこと 分からなかった部分を読み返しておくこと
4回	学習内容 予習 復習	トルコの事例をもとに、食文化の継承について理解を深める③民族誌を読む(後半) 資料を読み、分からない単語を調べておくこと 分からなかった部分を読み返しておくこと
5回	学習内容 予習 復習	韓国とトルコの事例をふまえ、他の食文化の継承について調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の事例について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
6回	学習内容 予習 復習	食文化の継承について発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
7回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える①ニジェールについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
8回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
9回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国・多民族の挨拶・おしゃべりの文化について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
10回	学習内容 予習 復習	ニジェールの事例から、世界の挨拶・おしゃべりについて考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
11回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの事例から、多文化共生について考える①ニュージーランドについて学ぶ 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
12回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの事例から、多文化共生について考える②資料を読む 事前に配布する資料を読み、分からない単語などを調べておくこと。 分からなかった部分などを含め、テキストをもう一度読み込んでくること。
13回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの事例から、多文化共生について考える③調べる これまでの資料を手掛かりに、他国の少数民族や多文化共生の事例について調べてくる 他の学生の発表を聞いて、面白かったことをまとめる。
14回	学習内容 予習 復習	ニュージーランドの事例から、多文化共生について考える④発表する これまでの授業をふまえ、自身で調べたことを発表できるようにまとめる 他の学生の発表を聞いて、もっと知りたいことをまとめる。
15回	学習内容 予習 復習	これまでの振り返り:世界の文化・慣習・思想について、諸事例をふまえて考える これまでの授業の内容を確認しておくこと。 授業を通して学んだこと、面白かったこと、調べたいことをまとめる。